



尾山台小だより

1月号

(学校教育目標と目指す児童像)

～確かな学力を身につけ、心豊かにたくましく生きる児童の育成～

【徳】 明るいい子 【知】 考える子 【体】 たくましい子



〔尾山台小ホームページ〕 <http://www.city.ageo.lg.jp/site/oyamadai-elementaryschool/>
または、「上尾市」ホームページ → 「上尾市立幼小中学校」 → 「尾山台小学校」をクリック。

令和4年 あけましておめでとうございます

上尾市立尾山台小学校長 安藤 寛仁

令和4年を迎えました。2022年は、東洋の「十干十二支」の考え方では「壬寅」（みずのえとら）の年です。「壬」は十干の9番目であり、生命の循環にたとえると次の生命を育む準備の時期です。「寅」は十二支の3番目と初めの位置に近く、春の芽吹きが始まり、暖かくなって虫たちが動き出す時とのことです。こうして考えると、今年は厳しい冬の寒さを越えて草木が芽吹き、生命力に溢れた明るい未来につながっていく「春の胎動」といった年を予感させます。コロナ禍の中、すっきりとした出口の見えない状況ではありますが、足下の一つ一つを大切にしながら、世界が急速に変化していくこの状況を前向きに捉え、挑戦し、しなやかに変化の波に乗っていきたいと考えています。



6年生 書きぞめ

＜好奇心と根気を養うこと＞

年の初めにあたり、まずは物事を面白いと思えなければ何事も始まりませんから、何に対しても好奇心を持って、多くの経験をしてほしいと思います。また、根気を持って挑戦し続けて、失敗しても次は改善し、めげずにチャレンジし続けることで結果は変化してきます。日々の生活の中でも、初めから「できるはずがない」と決めるのではなく、常識に捉われず多様な可能性にチャレンジしてみると、新たな自己発見につながる場合があります。挑戦していきましょう。



尾山台の桜の蕾

＜生活の見直しと新たなスタートを＞

そして、浮足立つことなく、日常を大切にしたいものです。まずは、今日を精一杯生きること、毎日毎日、足元のことをきちんとやるということです。朝起きて、一日やることをやって夜寝る時に、朝よりもこれだけ成長したと満足して一日を終える。今ある命のこの瞬間を、しっかりと生きることは大切なことです。その日その日を一步一步充実させていくことで、やがて、そこに喜びを感じるようになると、良い習慣がつき度胸が据わってきます。毎日の平凡な積み重ねは大きな力になるものです。新しい年の初めに、何か一つ始めてみるといいですね。

3学期はまとめと準備の学期です。6年生は卒業まで50日、他の学年は修了まで51日の、限られたわずかな時間での学校生活です。感染症対策を油断なく講じながら、学び



1年生 プログラミング学習

を止めないように積み上げてまいります。子供たちの健康維持につきまして、今年も引き続きのご協力をお願いいたします。

自分を肯定的にとらえることができる人は、自分を大切にしたいと思うでしょうし、相手の良さも認めることができるものです。自尊心を高めるためには、認め、励まし、達成感を味わい、自信がもてることが重要であり、子供たちの自尊心を高めることは非常に大切なことです。

学校行事は仲間と切磋琢磨し合える貴重な体験でもあります。仲間と共に、体験を通して学んだことは、実社会で力になりまることを願っています。